

令和5年度 練馬区地球温暖化対策地域協議会総会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和5年5月12日（金）午後6時から7時
- 2 会場 練馬区役所本庁舎 20階 交流会場
- 3 出席者 出席：22団体、委任状提出：5団体、欠席：0団体（詳細は別紙のとおり）、
練馬区：3名（会員含む）、事務局：4名
- 4 進行
事務局から、出席（委任状提出を含む）団体数、欠席団体数を報告
(1) 会長挨拶
(2) 委員紹介（異動のあった委員）
(3) 議事
【議案第1号】令和4年度 事業報告書
【議案第2号】令和4年度 決算報告書
【議案第3号】令和5年度 事業計画書
【議案第4号】令和5年度 予算書
(4) その他
- 5 議事要旨
会長から、議事録署名委員を指名：五十嵐 和代委員、小暮 文夫委員
(1) 【議案第1号】令和4年度 事業報告書を事務局から説明
【議案第2号】令和4年度 決算報告書を江村会計、事務局から説明、五十嵐監査
から監査報告
原案の通り承認
(2) 【議案第3号】令和5年度 事業計画書を事務局から説明、令和5年6月4日実施
の環境月間講演会について補足説明
【議案第4号】令和5年度 予算書を安部会計、事務局から説明
原案の通り承認
- 6 その他
(1) 練馬区の環境施策の現状について
環境課長：これからの区の取り組みについて説明
委員：2050年に温室効果ガスを排出ゼロにすることだが、区としては基本的なデータや基準を持っているのか。
環境課長：現在の計画は、まず2030年までに何ができるかといったもの。2013年度から2030年度までの間で国が46%の削減を提示している。その上で2020年度から2030年度で、約11万トンの区独自の削減目標が数値としてある。それに向けて具体的な計画を立てている。

- 委員：ストーンファイルというものを事務局が啓発物品として採用した。他でも使用を検討してはどうか。
- 会長：区のそれぞれの部署でも、できることを一つ一つ取り組んでいくことが必要であり、お互いに経験やノウハウの情報共有を行っていかねば目標は達成できない。全体としてそういった姿勢は意識していくべき。
- 委員：区としても様々な取り組みの中でカーボンニュートラルに向けた一例として、そういった視点も持ちながら発信を行いたい。
- 委員：参考までに、クリアファイルをリサイクルしてゴミ袋にする事業を始めた業者がある。また、コロナも終息しつつある中、アクリル板を再利用するリサイクルも始まった。リサイクルの先端をどのように導入して行くかがこれからの課題ではないか。
- 委員：区のごみの分別について、資源化できるものは品目を増やしていくべき。現状の再検討も必要である。

- (2) 練馬区地球温暖化対策地域協議会活動に係る費用弁償支出基準の一部改正について
- 事務局：昨年度まで各回ごとに現金で支払いをしてきたが、事務の効率化や現金の取り扱いを減らすため、原則、年度の上半期と下半期の二期に分けて、出席日数分をまとめて口座に振り込む形に変更。こちらは、3月1日の役員会で了承された。
- 口座による振り込みが難しい場合、事務局に連絡いただければ個別に対応も可能。

以上をもって全部の案件を終了した。

令和5年5月12日

以上の議事録が正確であることを証するため、以下の会員は署名押印する。

議事録署名人 五十嵐 和純

議事録署名人 小暮 文夫

1 出席会員

	会員団体名
1	ねりまエコ・アドバイザー協議会
2	練馬区環境審議会
3	練馬区環境清掃推進連絡会
4	ねりま・ごみフォーラム
5	(株)ジェイコム東京
6	西武鉄道(株)
7	西武バス(株)
8	東京あおば農業協同組合
9	東京ガスネットワーク(株)
10	東京商工会議所練馬支部
11	東京電力パワーグリッド(株)
12	(一社)東京都建築士事務所協会練馬支部
13	練馬区商店街連合会
14	(一社)練馬産業連合会
15	(公社)練馬東法人会
16	(公社)練馬西法人会
17	練馬区教育委員会
18	東京都地球温暖化防止活動推進センター
19	(公財)練馬区環境まちづくり公社
20	練馬区環境審議会会長・武蔵大学名誉教授
21	環境カウンセラー
22	練馬区

2 委任状提出会員

1	東京第一友の会(練馬方面)
2	(一社)東京環境保全協会
3	(一社)東京都トラック協会練馬支部
4	練馬区リサイクル事業協同組合
5	(一財)関東電気保安協会